

「絵本の読み聞かせ音楽会」の継続的な実施と充実へ向けて

大淀川学習館
学芸員 齋藤 加那子

大淀川学習館
技師 永田 涼花

【要 約】

人気の大淀川学習館（以下、当館）主催コンサート「絵本の読み聞かせ音楽会」を継続的に実施し、地域連携により生涯学習施設としての機能を強化することを目的として研究を行った。宮崎北中学校の協力を得て3度コンサートを開催し、1市2町の中学校へアンケートを実施したことで次年度の開催についても目途をつけることができた。今後はより多くの中学校と連携を図り、企画を充実させたい。

はじめに

当館では、平成29年度より、音楽の経験が豊富な職員が中心となって絵本の読み聞かせと歌や生演奏を組み合わせたイベント「絵本の読み聞かせ音楽会」を随時試験的に行ってきた。「絵本の読み聞かせ音楽会」は、通常の読み聞かせとは異なり、音楽を通して参加者が一体となって楽しむことができ、特に乳幼児を持つ保護者にも大変好評である。内容は音楽と絵本を通して大淀川流域に暮らす身近な生き物に親しみ、季節感や自然を感じられるなど、当館のコンセプトに即した企画内容であり、アンケート等においても参加者からは継続的な開催を求める声が上がっている。しかしながら、実施可能な職員が退職し音楽経験者が不在となったことで、恒常的な開催が難しくなり市民の声に応えることが難しくなってしまった。外部人材の登用を検討したが、音楽の専門家などに依頼する場合は費用が必要であり、予算確保が難しい。そこで当館と立地の近い中学校とで連携し部活動の一環として継続的に開催できないか探ることとした。部活動の一環としての開催は、地域との連携強化や、中学生の活躍の場を広げる機会にもなるという利点がある。更に、これまで限られた職員で行っていたパフォーマンスの幅を広げ、当館催事としてのオリジナリティをより高めることにも繋がる。よって、「絵本の読み聞かせ音楽会」の継続的な開催と、内容のオリジナリティを高めることを目的として研究を行うこととした。

第1章 「絵本の読み聞かせ音楽会」計画と実践

第1節 絵本の読み聞かせ音楽会の定義

「絵本の読み聞かせ音楽会」とは、絵本の台詞を歌詞にして、メロディーをつけて曲にした「歌絵本」を使って、絵本の読み聞かせを行うものである。一般的に絵本の読み聞かせには子どもの「嬉し

い」「楽しい」「怖い」といった感情を生じさせ、情緒を豊かにしてコミュニケーション能力を発達させる効果や、想像力・語彙力を伸ばす効果があるとされる。歌絵本は、通常の読み聞かせの効果に加えて、集中力を高め、深く絵本の内容を印象に残す効果があるとされているため、歌絵本を利用したコンサートの開催が子どもたちの生き物や自然に対する興味・関心を高める機会として有用ではないかと考え、平成29年度より、当館の音楽経験のある職員によって試験的に実施してきたところである。

当館で実施する「絵本の読み聞かせ音楽会」では、入場に年齢制限を設けないため、0～3歳の乳幼児でも集中が持続できる時間を考慮し、2冊程度の歌絵本の読み聞かせと、4曲程度の曲の演奏を行い、合計45分ほどの子ども向けコンサートを行うこととした。また、子ども向けのコンサートでは「知っている曲」や「季節の感じられる曲」が好まれる傾向にあると、これまでのアンケート結果から分かっている。したがって、季節ごとの開催を基本とし、季節に合った童謡などを中心に選曲することとした。

第2節 「絵本の読み聞かせ音楽会」の実際

平成30年度に宮崎北中学校音楽部顧問より、「中学生に活躍の場を設けたいため、大淀川学習館で音楽発表をさせてもらえないか」との要請を受けた。当館では音楽経験のある職員の退職により外部人材の登用を検討していた折だったため、「絵本の読み聞かせ音楽会」の演奏者を得られる機会と考え、要請を承諾し、コンサートを開催することとなった。

中学校の行事や部活動の計画等に配慮し、令和元年度は表1のとおり6月、8月、12月に3回の開催を計画し、実施した。

表1

開催日時	出演者	参加者数	プログラム
6月15日(土) 11:00～ 11:45 「絵本の読み聞かせ 音楽会」	宮崎北中学校音楽部 (14名)	大人70名 小人73名 計 143名	1.【手遊び】「ひげじいさん」当館 バージョン 2.【歌】ふうせん 3.【絵本】はらぺこあおむし 4.【絵本】あめふりくまのこ 5.【歌】にじ 6.【歌】さんぽ 7.【歌】たなばたさま 8.【歌】パプリカ
8月25日(日) 11:00～ 11:45 「絵本の読み聞かせ 音楽会 part 2」	宮崎北中学校音楽部 (7名)	大人73名 小人70名 計 143名	1.【手遊び】「ひげじいさん」当館 バージョン 2.【歌】どんな色が好き 3.【絵本】幸せなら手をたたこう 4.【絵本】スイミー 5.【歌】虫の声 6.【歌】パプリカ

12月15日(日) 14:00～ 15:00 「クリスマスコンサート in 大淀川学習館」	ピアノ(1名)、歌唱(1名)、クラリネット(1名)、宮崎北中学校音楽部生徒(6名)	大人65名 小人56名 計121名	1.【歌】恋人たちのクリスマス 2.【歌】おめでとうクリスマス 3.【歌】クリスマスメドレー 4.【歌】ホールニューワールド 5.【歌】いのちの理由 6.【歌】パプリカ 7.【演奏】インマークライナー 8.【合奏】ミッキーマウスマーチ 9.【歌】ジブリメドレー
--	---	-------------------------	--

第3節 コンサート規模拡大に伴った工夫

当館職員のみで開催していたコンサートでは、定員を50名程度と定めて学習室で小規模に行っていたが、中学生の出演によって出演者が増加したことに伴い、定員を3倍の150名程度に増やし、更に当館のオリジナリティを高める工夫として以下の3点の工夫を行った。

①プロジェクターを使用した絵本の投映

開催場所を200名程度入室できる「レクチャー室」に変更したことに伴い、通常を読み聞かせで使用する大型絵本では小さすぎると考えられたため、絵本をスキャンしてデータ化し、プロジェクターに投映して読み聞かせする方法をとった。通常と異なる絵本の二次的使用となるため、出版社への著作権申請も行った。



図1 絵本のプロジェクター投映

②ペープサートの使用

ペープサートとは紙人形劇のことで、キャラクターの描かれた紙に竹ひご等の棒をつけて動かしながら劇を演じるものであるが、子どもに物語を聴かせる際に内容をよりわかりやすく理解させるために用いた。童謡等の演奏において、単に歌を聴くだけよりも、子どもの集中力を持続させ曲の理解を深められると考え、生き物が風船の中から現れる仕掛けを用いたペープサートを作成した。



図2 ペープサート

③当館のオリジナリティを高める工夫

- ・生き物のお話「聞いてみようクイズ」

スズムシなど、鳴く虫の鳴き声を聴き、どんな生き物か答えるクイズを実施した。季節感を感じさせ、更に生き物への関心を高めることをねらいとして、実際に屋外で昆虫の鳴き声が聞こえる時期に合わせて行った。

・曲の歌詞の変更

童謡「ふうせん」では、様々な色のふうせんが別のものになってしまう様子が歌詞に描かれている。ここで赤い風船→ザリガニ、茶色い風船→カブトムシ、緑の風船→あおむし、など歌詞を変更し、ペープサートを用いて、風船の中から当館にいる身近な生き物が立体的に現れる演出をした。ペープサートを用いることで、子どもたちへ次にどんな生き物が出てくるか? という期待感を持たせることができた。

第2章 アンケート調査

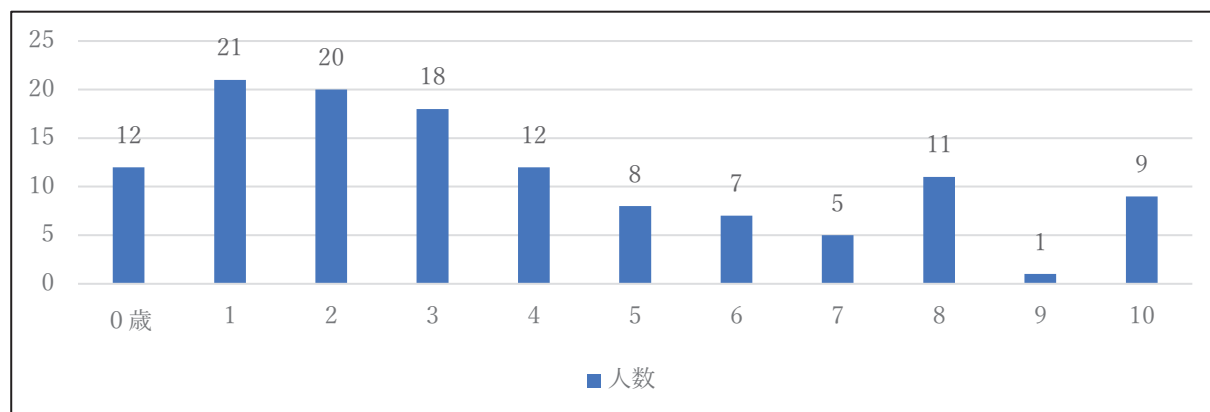
第1節 参加者へのアンケート調査

参加者の満足度を知り改善に繋げるためのアンケートを行った。令和元年度に開催した「絵本の読み聞かせ音楽会」2回分を合算した結果を表2に示す。

表2

参加した子どもの年齢

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上
12	21	20	18	12	8	7	5	11	1	9



1～3歳が特に多いが、どの年齢も幅広く参加していることがわかる。また、出演者の知人等で中学生の参加も見られた。

	大変満足	満足	やや不満・不満
満足度	60	20	0
印象に残った曲	<ul style="list-style-type: none"> ・【絵本】 はらぺこあおむし 5名 ・【絵本】 スイミー 7名 ・【手遊び】 ひげじいさん (当館バージョン) 2名 ・パプリカ 20名 ・ふうせん 4名 		
感想	<p><良かった意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが好きな曲があって良かった ・季節に合っていて良かった 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊びやダンスで体が動かして良かった ・ペープサートの飛び出す仕掛けが面白い ・子どもにとっても、年齢に近い中学生の歌声は心に残ったと思う ・中学生が笑顔で活躍する姿に好感が持てた ・本を見ながら歌を聴くことで内容が分かりやすく、楽しく鑑賞できた ・どの曲も映像などが工夫されていて飽きなかった <p><要望等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の音量が子どもの声に負けていた。音響をしっかりと整えると良い ・もっと子どもが曲に参加できると良い
--	---

歌絵本「はらぺこあおむし」や「スイミー」は特に印象に残った参加者が多いことがわかる。また、最も好評の声が多かった「パプリカ」は、歌絵本ではないが、流行曲であることや、振り付けがあり一緒に歌って踊れることから特に好まれたようである。

第2節 中学校へのアンケート調査

今後のコンサート事業の長期的な継続のためには、宮崎北中学校以外の様々な中学校とも協力できる態勢を整える必要がある。また、より多くの中学校と関係を持つことで博学連携・地域連携を強化するとともにコンサート内容にバリエーションが出て、参加者の増加とリピーター獲得に繋げたい。

以上の目的を達成するため、宮崎市・国富町・綾町の中学校28校にアンケート調査を実施し、22校から返答を得た。結果を以下に示す。

質問：貴校には、音楽系の部活動（合唱部、吹奏楽部等）はありますか

	回答数
はい	21
いいえ	1

質問：貴校の音楽系部活動は、どのような活動をされていますか

合唱を中心とした部活動	1
楽器の演奏を中心とした部活動	21
舞踊を中心とした部活動	0
その他	1（マーチング）

質問：部活動（又は、学校活動）の一環として、「絵本の読み聞かせ音楽会」へ、生徒を出演させることは可能ですか？

生徒の出演は、可能である	4
生徒の出演は、不可能（または、困難）である	14
その他（条件によっては可能である）	4（人数が少ないが1/時期次第3/内容による1）

質問：生徒を出演させるとした場合、課題になりそうなことを教えてください

教育課程やコンクール出場等との日程調整	13
会場までの移動手段（荷物の搬送も含む）	20
事前打ち合わせをする時間の確保等、引率者の負担	16
校内決議や保護者の承諾等の許可申請手続き	3
その他	3（部員の減少/乳幼児に合わせられるか/地域行事への参加が多い）

質問：絵本の読み聞かせ音楽会の取り組みや、当館との博学連携（地域連携）等についてご意見がございましたら、お書きください。

肯定的	否定的
<ul style="list-style-type: none"> ・良い取り組みだと思う ・子どもたち同士のふれあいが出来るのは良い ・教育施設と地域施設が協同して地域活性化を行うことは重要 ・同じ地域内での関わりは多い方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ✓練習時間も必要なため事前打ち合わせから本番までに3か月ほどは欲しい ✓土日の活動は他の地域行事もあり、負担が大きい ✓良い取り組みだと思うが、（当校は）部員数が多く室内楽には不向き ✓学校から距離があり、荷物の運搬など大変で協力が難しい ✓他のコンクールとの兼ね合いもあり日程調整は必要。打ち合わせや引率者の負担にも配慮が必要

アンケート結果より、宮崎市、国富町、綾町の中学校22校のうち、8校から条件によるが参加は可能との回答を得た。8校のうち、特に参加へ前向きであった1校に出演依頼を行ったところ、令和2年度の出演が決定した。

当企画に関する意見として、スケジュール調整の難しさを問題視するものや、参加に係る負担の大きさを懸念する声が特に目立った。一方で、博学連携に関する意見としては非常に良い取り組みであり、地域活性化の観点から重要だと感じるとの意見を多く得た。また、当企画は歌とピアノ演奏を中心としたコンサートであるが、歌唱を活動の中心としている中学校は1校のみであった。

第3章 成果と課題

第1節 成果

- ・「絵本の読み聞かせ音楽会」へ中学生が出演することに対して参加者から肯定的にとらえてもらった。
- ・プロジェクターを使用した絵本の投映と、音楽とが十分にマッチして子どもたちが絵本に大変集中していた。

- ・アンケートの結果、宮崎市内の中学校 8 校から「絵本の読み聞かせ音楽会」の出演に前向きな回答が得られた。更に、そのうち 1 校は次年度の出演が決定した。
- ・中学生の出演によって、当館の来館者層として薄い中学生世代の来館促進に寄与し、更に中学生と乳幼児の交流の機会として当館を提供することができた。

第 2 節 課題

- ・プロジェクターでの映像投映を行うために、タイミングに合わせた照明の調整、パソコン操作などで複数の職員が常時必要となり業務の負担が大きい。
- ・コンサートへの中学生の出演に関して、荷物の搬送や練習期間の必要などを負担に感じている学校が多い。
- ・部活動の成果発表の場としても活かしていくことを考慮すると、今後は吹奏楽も含めたコンサートにしていく必要がある。

おわりに

コンサート内容については、出演者である宮崎北中学校との密な協議によって十分に準備ができ、これまで当館職員のみで開催していた頃よりもパフォーマンスの幅を広げ、当館催事としてオリジナリティを高めることができた。参加者にとっても満足度の高いコンサートを開催することができたと考えられる。

また、近隣中学校 1 校が次年度のコンサートに出演することが決定し、次年度以降のコンサート継続についても見通しを立てることができた。

今後の課題として、宮崎北中学校やその他の中学校との繋がりを広げて企画を継続し、生涯学習施設としての機能を強化するとともに、更なるコンサート内容の充実を図りたい。

参考文献

- (1) 石田優子 「保育場面における絵本の歌い聞かせの効果」 <https://aue.repo.nii.ac.jp/> 2015
- (2) 第五次宮崎市総合計画 (平成 30 年 3 月)
- (3) 第三次宮崎市文化振興計画 (平成 30 年 3 月)
- (4) 川田夏子 「さくらんぼ体操」 株式会社学研プラス 2012